

# 無駄こそよけれ

おかざき世界子ども美術博物館  
岡崎市美術博物館 館長

榊原 悟 氏



教育随想



平成24年8月1日

## 8月号

発行・編集  
岡崎市教育委員会

### 今月の紙面

教育随想 .....	1
おかざき世界子ども美術博物館・岡崎市美術博物館 館長 榊原 悟氏	
この人に聞く .....	2
第三回グローバル競技イタリア大会 金メダリスト 中川 大輔氏	
羅針盤 .....	2
竜海中 校長 野田 光宏	
ふれあい .....	3
根石小 大本 満子	
特集 .....	4
岡崎の花火 ～先代からの技を後世に～	
お知らせ .....	6
フォト・ヒストリー .....	8
家康公の野外劇 (昭和59年)	
この本を .....	8

ゆとり教育からの転換が鮮明になった。よいことである。当初から疑問を抱いていた者として、むしろ遅すぎたとさえ思う。教える量を少なくして、どうしようというのか。とはいえ、学ぶのに、ゆとりならぬ、時間をかけて廻り道や寄り道をするとは必要だと思う。

電子辞書をご存じだろう。便利である。最近では、授業に持ち込む学生も少なくない。知りたい言葉を入力すれば、瞬時に答えが出る。無駄がない。急いでいるときは、これほど貴重な辞書はない。

だが、私は、辞書はやはり従来の紙媒体によるものを勧めたい。五十音順に従って言葉を捜す。見つかるまで時間がかかる。面倒である。しかし、本当にそれだけだろうか。見つかると、何もしていないわけではない。検索しているではないか。

その間、ページをめくることに別の語が目に入ってくる。その解説も読む。「へええつ、こんな言葉もあるのか。その意味は……。こんな使い方もあるのか。」

そんな小さな発見でも、重なれば大きな力となる。豊かな語彙力、日本語運用能力が、自然と身につくようになると思うのだが、どうだろう。

同じ意味で、私は学生たちに、図書館の書庫に入ることや古書店巡りを勧めている。本を捜しているときはもちろん、そうでない場合も、漫然と書庫や古書店に行くことである。棚にはびっしりと本が並んでいる。その背表紙を眺めるだけでも嬉しい。まさしく知の集積である。先人たちはこんなことにまで興味をもって調べておいてくれたのかと思ひ、



そうして今まで知らなかった本の存在を知る。その本が、後に思いもかけないところで役に立つ。そんなことが、私の乏しい経験の中でさえ、何度あったことだろうか。

無駄そうに見えて、実はそうでない場合は少なくない。教育、学習の場では、ことにそうではないか。

(さかきばら さとる)

# この人に聞く



## 支えられて

第三回グローバル競技イタリア大会  
金メダリスト

中川 大輔 氏

今年はオリンピッククイヤー。ロンドンで繰り返される熱戦に世界中が沸いている。昨春秋、知的障がい者の国際スポーツ大会で金メダルを獲得した中川さんの目標は、ロンドンパラリンピックに出場することだった。

知的障がい者の国際大会で、日本人が陸上競技の金メダルを獲得したのは史上初。男子五〇〇メートル、自身が持つ日本記録を二秒縮める、十五分十六秒六八は日本新記録での優勝だった。

「どきどきしました。走る前にはこうやって深呼吸して。手をぶらんぶらんとさせてリラククスして。」

まだ記憶に新しいといった感じで、実際に様子を見せてくれた。言葉少なに語る彼の語り口や表情からは、誠実な人柄が伝わってくる。

中川さんは、三菱自動車に入社し

て三年目。自閉症で中度の知的障がいがありながら、仕事と陸上競技生活を両立させている。また、入社以来、ずっと一人で寮生活を送っている。

「夜勤のときは、朝、寮に帰る前に、会社敷地内のクロスカントリーロード約六〇〇メートルを十周、一人で走っています。言われたことは真面目にやります。先生は怖いですよ。やらないと怒られちゃうもんね。」と、苦笑いする表情は、ごく普通の二十一歳の青年だ。昼勤のときは、週三日、三菱自動車陸上部の精鋭たちと一緒に練習を行っている。今年の市民駅伝では、三菱自動車Bチーム一区で、区間九位の走りを見せた。「幼いころから、走るのも体を動かすのも好きな子でした。水泳や体操もずっと続けていました。」

と、同席したお母さんは言う。陸上競技との出会いは、東海中学時代に遡る。水泳部に所属していたが、校内マラソン大会での活躍を見て、担任の先生から駅伝部を勧められたのがきっかけだ。その頃の思い



出を尋ねると、友人たちの名前を次々に挙げた。きつと楽しい中学校生活だったのだろう。お母さんによると、部活動以外にも、技術科の作業学習、学区での継続的な職場体験などいろいろな経験をしてきたのだそう。

「今まで関わってくださった方のおかげで、今のこの子があると思います。大輔にも、いつも支えてくれる職場の方、コーチや先生に感謝しなさいよと言っているんです。感情を理解したり表現したり、そういう部分は、難しい障がいなのですが。」

ロンドンパラリンピックへの出場がかなわなかった今の目標として、「一五〇〇メートルのベストは四分七秒なので、もっといい記録を出したい。次のリオの大会には、ぜひ出たいです。」

と、自分の記録にこだわる中川さん。その傍らで支えるお母さんは、「働きながら競技を続けることは、健常者にとっても大変なことです。今回、この子の活躍で障がい者も頑張っていることを知ってもらって、他の人にも道が開けていくといい。そういう意味でも、大輔にはできるだけ長く続けてほしいです。」と、静かに思いを語る。

中川さんの頑張りを認め、支えている人たちは、彼の今後の活躍を、彼の感謝の気持ちとして受け止めることだろう。

氏名 ながわ だいすけ  
生年月日 平成二年七月九日  
住所 岡崎市小針町

# 羅針盤



## サツキ盆栽の教え

竜海中 校長

野田 光宏

教育は未来への投資であり、教師はその使者なんだ。私たちの評価は、自分の手を離れてからの子供の姿が決める。私がある時を境に言い続けてきた言葉だ。

二十年前の夏休みのことである。借りていたサツキの盆栽を返しに、恩師の自宅を訪れた。恩師は、二階のベランダで、小さなサツキの苗木をうれしそうに眺めていた。そこには、所狭しと何百鉢もの苗木が置かれていた。私は、その一鉢一鉢の枝ぶりが醸し出す誇らしげな姿に圧倒された。さすが、市内外で開催される展覧会で何度も入賞されている腕前である。私は、どうしたら、そこまでの見事なサツキ盆栽を作ることができのかわかを探してみた。恩師は、「小さなうちから木の性質を見抜き、やがて美しい花で着飾るサツキの姿



## 道徳は漢方薬

根石小

大本 満子

四年生になった春、A子は、親友だと言ってグループを作ったかと思ふと、すぐにまた別の子とグループを作った。そして、グループから外されたと訴える子に、

「こつちで遊んだら楽しかったから。みんなと仲良くしているだけで、仲間外れにしているつもりはない。」と悪びれもせずに言い張る。A子の軽々しい態度の裏側には、きちんと友情関係を結ぶことのできない未熟で寂しい心が感じられた。

四年生の子供たちは、友達との関係を大切に考え始める年頃である。A子の姿を見て、友情・信頼について、道徳の授業で深く考えさせたいと思つた。しかし、道徳は漢方薬。すぐに効果は現れない。そこで、漢方薬としての道徳をより効き目のあるものにするために、子供の思いを大事

にして、道徳の授業と体験活動を関連付けていくことを考えた。

「仲間に入れてと言う友達に、卓球は四人までだからと断る主人公の気持ちを追う」という道徳の授業をした。途中、役割演技の場面を設け、役を交代させることで、実感を伴った話し合いが進んだ。A子のまとめには、「私もこんなことがある。断る方は気持ちがいいけど、相手は嫌な気持ちになるから、これからは気を付けたい」とあつた。「断る方は気持ちがいい」とは、A子のこれまでの正直な思いであろう。「これからは気を付けよう」という高まった思いをよりどころとして、実践につなぐ場を設定した。入院した友達のためにグループでお見舞いの品を作る活動である。

仲よしグループでなく、作りたいもの同士で集まり、A子も協力してカード作りに励んだ。そんな中、最初は無理だとあきらめていた千羽鶴グループが熱心に鶴を折る姿を見て、手助けする子が増えてきた。いつしかA子も含め、全員を巻き込んで鶴を完成させた。この体験は、学級の一体感を高め、A子にも、仲良しの友達と落ち着いた関係を築き始めるという変容をもたらした。ところが、しばらくすると数人の子がA子に陰口をたたかれたと相談にきた。結局、

除け者にされたと勘違いしたA子の嫌がらせだった。これこそ、A子が友達と深く関わり出したことで生まれた戸惑いや不安であると感じた。

そこで、「友達っていったい何なのか」を深く考えてほしいと思ひ、ブックトークを試みた。友達の良さを感じられる本を四冊紹介した後、様々な視点から友達について考えられるよう、多様なジャンルの七十七冊の本を用意し、教室に置いた。

「友達って一生の宝物。たとえ一人ではできなくても二人ならできる。」と感想を書いたA子。友達の大切さを感じ始めていることが見て取れるようになった。

漢方薬としての道徳がじんわりと、着実にA子の心に届き、心を磨きつつあることをうれしく思った。



を想像して、じっくり愛情をかけ続けていくことだな」と一言。

絵の指導だけでなく、盆栽作りも一流であった恩師の、私の心を射貫いた示唆であった。

職場で時々耳にする言葉がある。手元から巣立った教え子が、我を見失い悩んでいると聞いて、「ぼくが受け持っていたときには頑張っていたのに……」。私も、それを言っていた一人である。私たち教師は、自分の指導の下で子供が成長するのを期待するあまり、誤解を仕掛けてしまっているのではないか。担任として関わっているときの「子育て」こそが教育だと。

恩師のサツキ作りも、植え替え、施肥、剪定、針金掛け、水やりなど時間と手間をかける愛情の注ぎ方は、子育てと同じである。ただ、恩師は、自分のサツキ盆栽を、自宅で観て味わったことはほとんどないという。貸し出した人の声や展示会場での評判を聞き、微笑んでいたそうである。

自分の目の前だけを意識した成果主義の教育から、未来に生きる人としての基礎づくりに主眼を置きかえ、十年後も二十年後も、自分が関わった子供にエールを送り続ける教師でありたい。



▲ 花火玉にクラフト紙を貼り合わせる表面仕上げ

江戸幕府を開くにあたり、徳川家康が最も恐れたのは、火薬（鉄砲を含む）を使用しての反乱や一揆が発生することであった。このため、生誕の地である岡崎市を中心とした三河地方を、江戸幕府唯一の火薬製造所として認めた。火薬を取り扱うことが許された岡崎では、その後、花火製造が盛んになった。今も、市内には多くの花火問屋がある。また、花火工場もたくさんあり、花火の製造販売が盛んである。おもちゃ花火では、国内生産の約四割を占めている。

戦後しばらくは、現在の市街地に当たる場所にも花火工場があった。しかし、住宅が建ち並ぶようになって、爆発事故に備えて立地条件がしだいに厳しくなり、花火工場は郊外に移転していった。また、住宅事情や安全に配慮し、花火大会での打ち上げ号数の規制も厳しくなった。このため、花火大会では、打ち上げ花火の大きさだけでなく、水中花火や仕掛け花火、スターマイン（音楽と共演する速射連発方式）など、演出で盛り上げる数々の工夫がなされている。

花火職人は、修行期間が、少なくとも十年以上と長い。花火職人になるには、よほどの覚悟が必要である。そのため、花火職人は、後継者が少ないという問題に直面している。

毎年、八月の岡崎の夜を彩る打ち上げ花火は、とても華やかである。それは、いくつもの困難や課題を乗り越えた職人の魂と技が、夏の夜空に華開いているからである。

### 《岡崎の花火の歴史》

- 1613年 駿府城で家康が外国人の打ち上げた花火を見学
- 1809年 大矢川原(菅生川)で花火打ち上げ
- 1820年 奥殿に熊野流花火始まる。
- 1822年 菅生天王祭で金魚花火始まる。
- 1871年 三河の花火師が金魚花火を塩素酸カリウムで改良
- 1941年 第二次大戦のため花火大会禁止  
(～1945年)
- 1948年 岡崎市観光協会主催の花火大会始まる。(今年度は第64回)

### 《花火の大きさ》

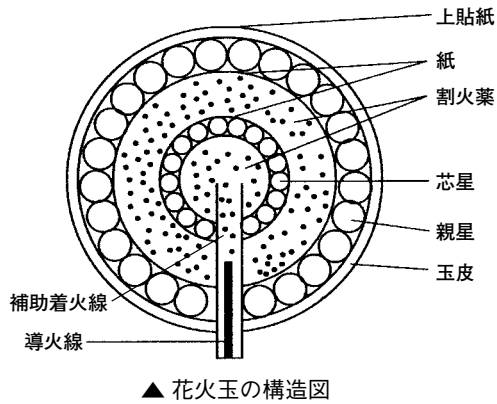
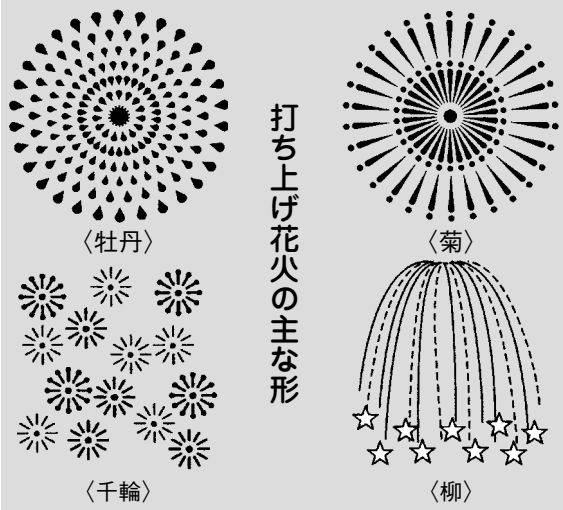
花火は、玉の直径で呼び名が決まる。直径約9センチを3号、約12センチが4号となり、3センチ刻みで大きくなる。10号玉は一尺玉とも呼ばれる。

現在の岡崎花火大会で打ち上げられる最大の大きさは、菅生川原で5号、大矢川原で10号までである。昔は、上の写真のような三尺玉も打ち上げられた。



▲ 大正15年の市政施行十周年記念祝賀会煙火大会より(市所蔵写真)

打ち上げ花火の豆知識



受け継がれる技

花火師の世界も職人の世界。基本的に技は見て学び、見て覚える。製造方法は今も昔も変わらない。火薬を扱うため、機械化が難しく、工程のほとんどが手作業である。玉貼り3年、星掛け5年ともいわれ、少なくみても10年以上の修行が必要である。「星」と呼ばれる火薬の玉の並べ方次第で、夜空での形が決まる。



おもちゃ花火・打ち上げ花火の国内生産販売実績

		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
内訳	国内生産	74.4	74.6	80.5	70.6	70.0
	おもちゃ花火	20.0	18.0	20.0	14.1	13.5
	打ち上げ花火	54.4	56.6	60.5	56.5	56.5

(単位 億円)

上の表は、最近の国内花火生産の販売実績である。岡崎は、おもちゃ花火の約4割を生産しているが、最近では減産傾向にある。

花火工場の今

▼ 爆発事故発生に備えた土盛り



花火工場は火薬を扱うことから、簡単に見学することはできない。それでも、職人が働く姿、技を受け継ぐ姿を若い世代に見せることは大切である。



◀▶ 小学生の花火工場見学



◆平成24年度授業力・教師力アップセミナー「基礎編」

月日	教科・領域	会場	開講式 閉講式
8/2	国語（書写）	岡崎市民会館 （集会1号室）	9:00 12:20
8/2	社会	道の駅「藤川宿」、藤川宿資料館、東部地 域交流センターむらさきかん、藤川小学校	9:00 16:00
8/3	算数・数学	竜美丘会館（501号室）	9:15 11:45
8/2	理科	福岡中学校	8:50 12:00
8/2	生活	ぬかた会館	9:30 11:50
8/2	総合的な学習	総合学習センター （教育研究室2）	9:00 12:00
8/3	音楽	総合学習センター （教材開発室1・2）	9:30 12:00
8/2	図工・美術	おかざき世界子ども美術博 物館（視聴覚室）	9:30 12:00
8/3	保健体育	総合学習センター （体育館）	9:00 12:00
8/2	家庭科 （小学校）	南中学校（被服室・図書室）	9:00 12:00
8/3	技術・家庭科 （技術分野）	株式会社 白惣 西塚工場	10:00 11:50
8/2	技術・家庭科 （家庭分野）	シビックセンター（第3講習室）	8:50 11:50
8/3	英語	南部市民センター分館	9:30 15:40
8/2	道德	総合学習センター （第1会議室）	9:25 11:50
8/3	特別支援教育	総合学習センター （小ホール）	10:00 15:30
8/2	学習情報	羽根小学校（パソコン室）	9:00 16:00
8/3	学校図書館	図書館交流プラザりぶら （会議室301、302）	9:20 11:40
8/2	学校保健	中央総合公園 （野球場第1会議室）	9:30 11:50
8/2	生徒指導 （不登校対策）	教育相談センター	9:15 11:45
8/3	生徒指導 （問題行動）	総合学習センター （第1会議室）	13:00 15:10



●授業力・教師力アップセミナー

夏期休業中に、授業力・教師力アップセミナーが開催される。「基礎編」については、左の表のように、二十の研修会が設けられている。

各教科・領域の基礎的な知

識や技能を習得したり、授業を適切に進めたりする力が高まることを期待している。「応用編」は、「岡崎市教員免許状更新講習の選択講習」と兼ねて行っている。八月七日、八日、九日の三日間にわたって、次頁の表のように、二十



▲23年度 基礎編「国語（書写）」

七の講座が設定されている。「応用編」の開講時刻は一律で、九時十分の予定である。

●ハートピアだより

心静かに時を過ごす

四月当初、新規に指導員三名と指導アドバイザー一名が加わり、八名態勢で登校支援や本年度の通所生の受け入れ準備を進めた。心機一転の四月の好機を逃さず、登校を促すチャレンジ週間を待って、十二日から今年度の初回面談を開始した。十六日からは、五名の通所生を受け入れ始めた。

六月末現在、二十七名が通所し、昨年より四名ほど多いペースである。通所生該当学校は、小学校で四校、中学校で十校となっている。男女比は、四対五と若干女子が上回っている。

五月下旬からは、通所生の学校復帰を目指し、担任との打ち合わせの会を実施している。多様な学校業務の合間を縫って来所いただき、通所生の情報交換等きめ細やかな連携構築を図っている。

今学期も通所生たちは、おかざき世界子ども美術博物館

の造形教室と岡崎中央総合公園恩賜苑、美術博物館に出かけた。造形教室では、E B Aの題材に取り組み、個性的な作品ができた。

中央総合公園の恩賜苑散策コースでは、木々の葉がすっかり生い茂った緩やかな山道を、それぞれの体力に応じた歩みでのんびりと巡ることができた。昼食後の美術博物館鑑賞では、「英国水彩画展」の、J・M・W・ターナーをはじめとする巨匠の作品に引き込まれ、心穏やかなひと時を過ごすことができた。



▲博眺亭でひと休み

◆平成24年度授業力・教師力アップセミナー「応用編」

Table with columns for 講習名, 会場, 講師. Includes dates 8月7日(火), 8月8日(水), 8月9日(木).

●海外都市交流事業

岡崎市中学生姉妹都市・友好都市交流事業として、ニューポートビーチ市(アメリカ)・ウツデバラ市(スウェーデン)・呼和浩特市(中国)と交流活動を行う。

今年度の岡崎市派遣団員は、下表のとおりである。

Table with columns for 訪問, 受入, 訪問, 受入, 訪問, 受入. Lists dates for New Port Beach, Utsunomiya, and Utsunomiya.



▲H24年度 岡崎市派遣団員

呼和浩特市 受入 8/3~8/6 訪問 9/5~9/12

◆岡崎市派遣団員一覧

Table listing members of the dispatch team from Sister Cities (姉妹都市), Friend Cities (友好都市), and Huihehaote City (呼和浩特市).

●日本多忠次郎復原

日本多忠次郎が東公園内に復原され、七月六日(金)に開館した。本多忠次は、最後の岡崎藩主・本多忠直の孫で、一〇二歳で亡くなるまでこの邸宅で暮らした。日本多邸は一時取り壊しの危機に陥ったが、本多家ゆかりの地である岡崎市に移築復原されることになった。また、写真や図面、蔵書などの関連資料を、岡崎市美術館で八月十九日まで展示

している。

日本多忠次郎の開館時間・休館日は次の通り。

- 開館時間 九時~十七時 (入館は十六時三十分)
休館日 月曜日
(祝日の場合は次の平日)



▲復原された日本多邸

●表彰

◆第13回西日本選抜学生社会人女子相撲大会 軽量級 準優勝

◆24春フラワーブラボーコンクール付帯

学校花壇設計図コンクール 愛知県教育委員会賞 形埜小 東山動物園モデル花壇設計図コンクール

中日新聞社賞 形埜小

・カ  
ツ  
ト  
竜  
海  
中  
杉  
田  
か  
ざ  
み

## 家康公の野外劇 (昭和59年)

写真提供：大樹寺小学校

家康は、永祿三年（一五六〇年）五月二十三日に人質生活から脱し、岡崎城に入城した。そして、自立の道歩むようになった。これにちなんで、大樹寺小では昭和五十九年より毎月二十三日を「自立の日」とした。その一環として、運動会での野外劇が始まった。運動場全体を舞台に、祖洞和尚が織田勢を蹴散らし、元康（のちの家康）が岡崎城に入城し自立するまでを、組立体操を交えて演じる。この野外劇は現在も続いており、保護者や地域の方が、毎年楽しみにしている。現在、大樹寺小は「家康学習」として研究を行っており、この野外劇もその一つの手だてとしている。

教育基本法の「郷土を愛する」という視点をもち、市内各校で地域の「ひと・こと・もの」の教材化が進む。それぞれの学校で郷土を愛する心が育てられている。



市長杯に向け、懸命に練習し続けた三年生。二年半もの「日常」の終わりには、同時にスタートラインでもある。歩み出す背中にも彼らのさらなる成長を祈る。そして新たに響く初々しい声。「僕らの夏」はまた繰り返される。教師の心には子供たちの思いが積み重なる。その幸せをかみしめながら、今日も声を張り上げる。

# シ オ ス ア

澄んだ瞳、礼儀正しい挨拶。まじめな仕事ぶりの中川さんを、職場の仲間には応援し、高校の恩師が今も競技生活をサポートする。誰からも愛されるキャラクターなのだ。多くの人との出会い、経験が今の彼を作ったというが、それを受け入れる素直な心があつてこそことだろう。にわか応援団の私も、四年後のリオを楽しみにしている。

岡崎の花火大会の売りは、その種類の多さである。弁当で言うと幕の内というところだろうか。打ち上げ花火で大きさだけを競うのではない。花火大会に欠かせない、演出の凝った仕掛け花火には、ひととき大きな歓声が上がります。見物客との一体感がある。今年も、職人の技と心のこもった幕の内弁当を味わいたい。

アサガオが、運動場に向かって大きな口を開け、汗を流す子供たちにエールを送っている。

アサガオは毎朝、日の光に合わせて花を開き、夏の暑い太陽をもとめせず、ひたむきに咲き続け、やがて固い実をつける。

運動場で走り回す子供たちの努力が、アサガオのように実を結ぶことを願っている。

# この本を

- \* 人間の基本 曾野 綾子 新潮新書 ￥714
- \* <銀の匙>の国語授業 橋本 武 岩波ジュニア新書 ￥861
- \* 本へのとびら 宮崎 駿 岩波新書 ￥1,050
- \* 日本人の美德を育てた「修身」の教科書 金谷俊一郎 PHP新書 ￥777

## \* ディズニーと三越で学んできた日本人にしかできない「気づかい」の習慣

上田比呂志 クロスメディア・パブリッシング ￥1,449

東京の老舗料亭で生まれ、「気づかい」の中で育った筆者。三越とディズニーで働いた経験をもとに、日本人の「気づかい」の素晴らしさを説く。日本人にしかできない「気づかい」は、他を慮る心であり、他を感じる感性である。そして、サービスは対価を求めるが、「気づかい」は見返りを求めない。

日本人として、感性を磨き、気遣いのできる人でありたいと思わされる。  
愛宕小 伊豫田 守